



## 1. マーケット・レート

			6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1120	3.0970	3.1180	3.0900	3.1190	+0.0290
	BRL/JPY	Spot	40.01	40.14	39.35	39.94	39.55	-0.39
	EUR/USD	Spot	1.1291	1.1281	1.1328	1.1258	1.1266	+0.0008
	USD/JPY	Spot	124.52	124.29	122.74	123.47	123.40	-0.07
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14.04	14.06	14.12	14.21	14.20	-0.0147
	Future	1Year(p.a.)	14.00	14.00	14.12	14.23	14.23	-0.0008
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.464	1.420	1.484	1.411	1.405	-0.006
USD		1Year(p.a.)	2.075	2.029	2.102	1.963	1.909	-0.054
株式	Bovespa指數		52,810.00	52,815.99	53,876.45	53,688.52	53,347.53	-340.99
CDS	CDS Brazil 5y		249.50	244.50	249.45	239.96	244.33	+4.37
商品	CRB指數		223.033	226.427	228.184	225.305	223.529	-1.776

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のドルレアルは3.1370で寄り付いた。週初は、ドイツで開催されたG7でオバマ大統領が強いドルを懸念する発言をしたとの報道を受けて、ドルの高値警戒感が強まり、ドル全般安の展開となつた。ホワイトハウスは直ぐにこの報道を否定したが、トル売りは収まらず、レアルは3.09台前半まで上昇した。
- ブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2015年の経済成長率予想が-1.27%から-1.3%へと3週連続で引き下がられた。インフレ率予想は2015年が8.29%から8.46%へ8週連続で引き上げられた。ブラジル経済の見通しは依然として弱いことが示された。
- 週央には黒田日銀総裁が更なる円安はないとの認識を示したことを受け、ドル円が急落した。ドル売りの流れからレアルは上昇し、週間高値となる3.0640を示現した。しかし、ブラジルのインフレ率が市場予想以上に高かったことや、大口のアウトフローでレアルは反落し、3.12近辺まで下落した。
- 11日には中銀がドル売り介入ポジションのロールオーバー金額を減らすと発表したことを受け、レアルが急落し、週間安値となる3.1700を示現した。しかし、発表されたCOPOM議事録で伯中銀がインフレに対する警戒を続けて行くことが示されると、追加利上げ期待からレアルが反発した。短期筋の損切りを巻き込みながら、3.10超えまで上昇した。
- 週末にかけては米ミシガン大学消費者信頼感指数が市場予想を上回ったことを受けて、ドルが買戻され、3.1200で越過した。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



## 黒田日銀総裁のコメントを受けてドル円が急落

黒田総裁が10日の衆議院財政金融委員会で「ここからさらに実質実効レートが円安になるのはありそうにない」と発言したことにより、ドル円は124円台から122円台に急落。市場はこの発言を、13年ぶりの水準まで進んだ円安への牽制と受け止めた。当面は125円が円の下値として意識されよう。

出所:Bloomberg



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想ドル・レアル相場レンジ：3.05–3.20

今週はオバマ大統領と黒田日銀総裁の発言からドル円の高値警戒感が強まりドルが大きく売られた。しかし、その後、伯中銀の為替介入の姿勢を弱めたことを受けてレアルは急落した。強弱両方の材料が出て、レアルは上下に振れたが、結局直近のレンジを抜ける動きにはならなかった。来週は16-17日にFOMCが開催される。政策変更を見込む声は殆どないが、会合後のイエレン議長の記者会見で金融正常化に向けた動きが見られるかに注目が集まっている。先週の雇用統計が強かったこともあり、FOMCではタカ派トーンが強まる可能性が高いと見ている。ドルは強含みで推移しよう。一方、交渉が難航しているギリシャのデフォルトルスクが高まっており、リスクオフのムードが高まる中、レアルは下値を試す展開を予想する。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
米	PPI最終需要	0.4%	0.5%	-0.4%
米	ミカソ大消費者信頼感指数	91.2	94.6	90.7

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/15	貿易収支(週次)	Jun-14	--	\$1976M
ブラジル	6/15	登録雇用創出合計	May	--	-97828
ブラジル	6/15	税収	May	--	109241M
独	6/16	ZEW調査現状	Jun	63.0	65.7
ブラジル	6/16	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jun	--	0.52%
ブラジル	6/16	FGV CPI IPC-S	Jun-15	--	0.85%
ブラジル	6/16	小売売上高(前年比)	Apr	-1.7%	0.4%
米	6/16	建設許可件数	May	1100K	1143K
ブラジル	6/17	経済活動(前月比)	Apr	-0.45%	-1.07%
米	6/17	FOMC政策金利(上限)	Jun-17	0.25%	0.25%
ブラジル	6/18	FIPE CPI-週次	Jun-15	--	0.61%
ブラジル	6/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jun	--	0.41%
ブラジル	6/18	CNI産業信頼感	Jun	--	38.6
米	6/18	消費者物価指数(前月比)	May	0.50%	0.10%
ブラジル	6/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Jun	0.7%	0.6%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。